



横浜での起業・経営力アップに役立つ情報レター

NEWS LETTER

IDEC ニュースレター

No.17

春
2016

(年4回発行)

IDEC
YOKOHAMA

【発行】公益財団法人横浜企業経営支援財団

〒231-0011 横浜市中区太田町 2-23
横浜メディア・ビジネスセンター7F
TEL.045-225-3700 FAX.045-225-3737
<http://www.idec.or.jp>

「少子化阻止のために」地図アプリ「ベビ★マ」がグランプリ ～横浜ビジネスグランプリ2016ファイナルが開催～



「新米ママ・パパが赤ちゃん連れで外出しやすい社会にしたい」とグランプリを受賞した Trim 長谷川社長



「ベビ★マ」アプリ画面
(開発中のもの)

2月20日、ランドマークホールで「横浜ビジネスグランプリ2016ファイナル」を開催しました。書類審査・プレゼン審査(セミファイナル)を経てファイナルに進出した11組の起業家が審査員・観客に事業性をアピール。審査の結果、授乳室などの地図情報を提供するアプリ「ベビ★マ」を発表したTrim(神奈川県)の長谷川さんが最優秀賞を射止め、賞金50万円などを手にしました。

このグランプリは、横浜での起業・新規事業に挑戦するビジネスプランを全国から発掘するもので、今回で18回目を迎えました。111件の応募から20件がセミファイナルに進み、さらに学生部門4組、一般部門7組がファイナルへ。経営者からの助言やメンターによるプランのブラッシュアップを経て、審査員と約260名の観客を前に、磨きかけたプレゼンテーションを披露しました。

【グランプリはTrimに。決め手は“こころざし”。】

審査発表では、林経済局長(横浜市長代理)、IDECの牧野理事長から各受賞者に賞状が授与されました。

グランプリに選ばれたTrimの長谷川さんのプランは、外出先で授乳室やおむつ替え施設等を探せる地図アプリ。ス

マートフォンなどで無料で利用でき、収益は企業への有料アカウントの販売・利用者動向のビッグデータ販売・施設調査の3本柱であげるプランです。

長谷川さんは受賞スピーチで「光栄で、驚いている。皆さんに子育て中のお母さんを助けていただきたいし、(お母さんには)子育てっていいものだと思ってほしい。スタッフ・家族にありがとうと伝えたい。」と述べました。

発表ののち、審査委員長の野島廣司氏(家電量販店ノジマ社長)が総評し「いずれのプランも実現性が高く、審査は難航した。グランプリの決め手は『(事業ビジョンは)少子化阻止』という長谷川さんの“こころざし”だった。ぜひ、横浜市で事業を前進させてほしい。」と、横浜市が進める子育て環境整備への貢献にも期待をにじませました。

【関係者コメント】

- 「三日住めばハマっ子」というとおり、横浜は新しいことをやる人が集まる町。横浜市は起業家を全力で応援している。(ファイナルを機に)様々な応援をしていきたい。(林経済局長)
- セミファイナル以降、プランが非常に進歩し驚いた。起業家の頑張りと(IDECの)メンタリングを評価したい。(三好審査員)

2017年のグランプリは、秋頃に募集を開始する予定です。未来を拓く起業家の挑戦にご注目ください!



ファイナリストと関係者の記念撮影。「いずれも素晴らしいプラン。ファイナルに残ったことに自信を持ってほしい」と野島審査委員長(前列右から6番目)

■ Pick Up

中国の大気をきれいにしたい 中国佛山市で現地企業4社と商談

中国広東省佛山(ぶつざん)市にあるオフィスビル2階の会議室。インターアクション(金沢区)の代表取締役専務・木地氏は、中国企業4社との商談会に臨みました。

1月に開催されたこの商談会は、IDECの「海外企業ニーズとのビジネスマッチング事業」に同社が登録し、コーディネーターが同社の排ガス処理技術・機器に興味を持つ4社を紹介したことによって実現しました。

この事業は、コンサルティング会社等が中国・タイ・ベトナムの3か国から掘り起こしたビジネスニーズを、コーディネーターが市内の中小企業につなぎ、マッチングを行う仕組みです。現在、3つの国からは製品購入、共同研究・技術提携などのビジネスニーズが104件寄せられています。とりわけ、中国からは環境・省エネ技術ニーズが多く寄せられていることが、今回の4社同時商談につながりました。

2時間におよんだ商談会では、同社の製品・技術情報を紹介したところ、いずれの中国企業もVOC(揮発性有機化合物)処理設備に強い関心を示しました。また、NOx(窒素酸化物)処理装置にも関心が集まりました。今後は見積等の具体的なプロセスを検討していくこととなります。

同社は、中国にも複数拠点があることから、社員が出張で中国を訪れる機会も多く、中国の環境悪化を肌で感じてきました。日頃から大気汚染の問題解決に向けた製品開発に



「一度に複数社との商談にはメリットが多い」と話す木地専務(左端)

取り組んでいることもあり、中国の環境改善への貢献には、使命感にも似た熱い思いがあります。

木地専務は、「IDECの支援に期待している。国内で準備に多くの時間をかけた後に海外のビジネスニーズを掘り起こすのではなく、海外発のビジネスニーズに横浜企業が受けて立つという仕組みが良い。おかげで交渉まで一気に進むことができた」と評価しています。

新興国の旺盛なビジネスニーズとのマッチングを目指すこの事業は、平成28年度も実施を予定しています。

国際ビジネス支援の詳細はこちら <http://www.idec.or.jp/kaigai/>

問 国際ビジネス支援部 045-225-3730

「ものづくり補助金」でもワンストップ支援～認定支援機関としての取り組み

4月13日まで「ものづくり補助金」の募集が行われています。IDECが認定支援機関として27年度に支援した同補助金では、21件採択されました。申請にあたって事業計画の策定段階からIDECの窓口相談員、インキュベーションマネージャー(IM)、ものづくりコーディネーターや職員が一体となって課題の抽出・整理、計画のブラッシュアップなどアドバイスを行っています。

IDECが運営するリーディングベンチャープラザ入居企業のシンテック(鶴見区)は、工業用ダイヤモンドの微細加工技術を持つ工作用工具メーカーです。主力製品の印刷製版工具・ダイヤモンドスタイラスは優れた耐久性や印刷品質の良さから、国内はもとより海外向け売上が急増しています。

半面、高度な技術が必要なダイヤモンド刃の加工工程は熟練技術者の匠の技が頼り。品質の安定と生産効率の向上が大きな課題でした。そこで同社はパートタイムの女性など非熟練作業員でも高品質に量産できる加工ユニットを開発したいと考え、IDECのIMに相談しました。

IMはこの取組が補助対象の広い「ものづくり補助金」の趣旨「新事業を創出するための革新的な設備投資」に該当すると判断し申請を提案。職員ともものづくりコーディネーター、IMがチームを組んで申請をサポートしました。



ダイヤモンド刃の加工作業の様子

同社の努力の甲斐もあって無事に採択。現在、加工ユニットは設計の大詰めを迎えており、5月頃の立ち上げに向け順調に開発が進んでいます。さらに、立ち上げにあわせ、子育て中の女性を中心とした新規採用も計画しているそうです。

今回の「ものづくり補助金」は、例年と異なり募集期間が一回だけです(3月時点)。また直接人件費が補助対象から外れたり、IoT活用などによる上限3,000万円枠の新設など、いくつかの変更点があります。ものづくり補助金で新事業・新サービスに取り組みたい方は、まずIDECにお問合せください。その他の補助金・助成金の相談も受け付けております。

ものづくり補助金等のご相談は 技術支援課まで

問 技術支援課 045-225-3733

Pick Up

医師の“困った”をものづくり技術で解決!

ニットー(金沢区)は、幅広い金属加工技術をベースに、設計から量産までワンストップで手がけるものづくり企業です。ユニークな動きが話題になった「ヌンチャク系iPhoneケース」は、同社の製品です。今、同社が千葉大学フロンティア工学センターと共同開発した外科手術用ウェアラブルチェア「archelis(アルケリス)」が注目されています。

外科手術は10時間以上に及ぶ場合もあり、医師は中腰で立ち続けるため、腰に掛かる負担を軽くし、手術後の腰痛を防ぐことが課題となっていました。これを解消するため、同社は、金型精密加工や構造設計、3次元の曲げ技術をいかし、「立ったまま座れ、かつ歩ける椅子」を製作しました。装着すると姿勢の維持が容易となり、腰の負担を軽くする効果が期待されています。

試作段階にもかかわらず、ネットで公開した動画の再生回数は15万回を超え、国内外を問わず、関係者から注目されています。藤澤社長は「今後は、さらに現場の医師の評価をもとに、改良を重ね夏頃には製品化を行いたい」と意気込みを語っています。

IDECは、この製品の実証の場の提供や医療機器メーカー等とのマッチングなど、引き続き支援をしていきます。



ウェアラブルチェア「archelis(アルケリス)」

医工連携事業の詳細は技術支援課まで

問 技術支援課 045-225-3733

F/S 支援助成金を活用して、初めての海外進出に挑戦!

プラスチックの真空成形、射出成形が主業務の東京プロト(港北区)は、大手取引先がフィリピンに移転したため、製品を輸出で対応してきました。しかし、納期短縮やコストダウンを求められ、海外生産の必要性を意識しはじめていました。

そんな折、地域の工業会からの案内でIDECの海外進出支援(F/S)助成金を知り応募しました。

F/S支援は、海外進出の実現可能性を調査するものです。海外ビジネス経験が豊富なIDECの横浜ビジネスエキスパートによる事業計画の助言や、事業計画策定に必要な委託費や現地調査費などの2/3、1社最大90万円を支援する制度です。

同社は辻エキスパートのアドバイスを受け、損益分岐点の分析などをもとに、海外進出するための条件を検討。さらに、辻エキスパートと一緒に現地に向かい、フィリピン経済

区庁等の協力のもと企業を訪問してニーズを探った結果、フィリピン進出を決定し、現在、準備を進めています。

「助成金や専門家による的確なアドバイスは、調査の大きな助けとなりました。」と、平良社長は制度のメリットを強調しました。

平成28年度事業の募集要項を、4月1日からIDECホームページで公開中です。お気軽にお問合せください。



投資優遇制度や現地市場動向をヒアリング

F/S 支援助成金制度の詳細はこちら <http://www.idec.or.jp/kaigai/>

問 国際ビジネス支援部 045-225-3730

専門家 Column

窓口相談事例紹介：念入りな準備で順調オープン！ 女性起業家相談窓口・相談員 辺見 香織

「犬にも個性があるのに同じようなカットばかりなのはなぜ？」そんな疑問から、五十嵐さんは美容師からトリマーに転身、2015年2月にトリミングサロン「BJ dog trimming」をオープンしました。

実は五十嵐さんが初めてIDECの窓口を訪れたのは開業の一年も前。きっかけは、五十嵐さんが自らカットした愛犬カルロス君のスタイルが「犬友」の間で評判になったことでした。当時はトリミングサロンに勤務していましたが、口コミでカットの要望が増えてきたため、「本格的に起業してみたい」と考え始めたそうです。

しかしその時は準備に不安な点がみられ、相談員は開業の延期を提案。その後、

毎月、窓口で面談を重ね、売上の分析と顧客を増やす取組に専念しました。一年後、ちょうど準備が整った頃に手頃な物件が見つかり、念願のサロンをオープン。犬への愛情あふれる対応とセンスのよさが口コミで広がり、顧客も順調に増えているそうです。

IDECは女性の起業に精通した相談員が、起業前から開業後まで様々な課題の無料相談を承っています。ぜひお気軽にご利用ください。

【店舗情報】

BJ dog trimming
鶴見区豊岡町40-13吉田ビル1F(JR鶴見駅徒歩8分)
TEL:045-717-8400 定休日:金
<http://bbbj22.wix.com/bjdogtrimming>



サロンの看板犬のカルロス君と五十嵐さん(右)、辺見相談員

■ 各種イベントのお知らせ

2016.4～5



イベント名 / 会場	日程 / 時間
はじめての海外展開セミナー・Ⅳ～TPPが大筋合意された今、なぜ海外展開が必要か?～／ 横浜シンポジア 戸堂康之教授(早稲田大学)の基調講演のほか、新鋭産業、第一カーボンの海外事業展開を紹介 します。	4月18日(月) 13:30～16:30
起業チャレンジセミナー／ IDEC大会議室 創業に必要な知識や経営者としての心構え等について中小企業診断士(IDEC 経営相談員)が 解説します。	4月19日(火) 18:30～20:30
MEDTEC Japan 2016／ 東京ビッグサイト東4・5・6ホール 横浜パビリオンを出展します。パビリオンでは、横浜企業 16社が医療・健康分野での応用が見込め る各種部材や技術などを展示します。	4月20日(水)～22(金) 10:00～17:00
韓国投資環境説明会／ IDEC大会議室 駐横浜大韓民国総領事館との連携により、慶尚南道、全羅南道の投資環境等について説明します。	4月21日(木) 15:30～17:00
日本公庫・創業セミナー／ IDEC大会議室 お金を借りるときのポイントや、日本公庫の創業者向け融資制度について説明します。	5月19日(木) 15:00～16:00
Webを使った販路開拓セミナー／ IDEC大会議室 どのように Web を活用すれば売上アップや経営改善につながるか、上手に Web を活用していく 進路を学べる講座です。	5月20日(金) 18:30～20:30

その他多数のイベントを開催しています。詳細はウェブをご覧ください。

IDEC 横浜

検索

一みたとみらい線「日本大通り駅」直結 0分ー みなと横浜を代表する
横浜情報文化センター 日本大通りの歴史的建築物

入居者
募集中

現在、4・10・12階のオフィス入居者を募集中。



歴史的建築
物を活用した
4階オフィス

4階	729.15㎡
10階	① 97.28㎡
	② 145.92㎡
	③ 83.09㎡
12階	97.28㎡

●アクセス

みなとみらい線「日本大通り駅」
地下連絡口直結
JR、横浜市営地下鉄「関内駅」徒歩10分
中区日本大通 11番地
Tel.045-664-3737



その他の施設の詳細はIDECホームページ <http://www.idec.or.jp/>「施設案内」メニューから、各施設の入居募集案内をご確認ください。
詳細は、施設経営部 問 045-225-3710 まで。

■IDEC 上海事務所レポート「中国でのオーディオパーツ調達先開拓の支援事例」

上海事務所 副所長 岩田 健

横浜ベイサイドネット(中区)はネットショッ
プと吉田町の店舗で輸入オーディオパーツ
を販売しています。DIYオーディオファンの
ニーズを先取りした提案が好評です。

欧米製品が中心ですが、中国からの輸入
も増加しています。新しい調達先との取引に
はトラブルがつきものです。メールで発注し
ても、中国の調達先からの回答が滞ったり、
発注と異なる製品が納品されたりしました。
そのたびにIDEC上海事務所が間に入って解
決を支援しました。また「チャットアプリを活
用したい」という調達先の要望を伝えると、

円滑に連絡できるようになりました。

一方で吉川かおり社長は広東省の展示会
を訪れた際、日本と違い若者も多く来場して
いることに将来性を感じました。欧州の有力
メーカーが中国を最重要市場と位置付けて
いることを知り「中国は大きい市場。仕入先、
販売先としてもさらに重要になっていく」と
考えています。「その最初のステップを上海
事務所が助けてくれたのはありがたい」との
こと。今後は中国の中間層消費者向けにも
音響性能とインテリア性を両立する製品を
提供していきます。



小型なのに低音が自慢のスピーカー「BSN
パッシブ・ラジエーターキット」と吉川社長

問 国際ビジネス支援部
045-225-3730
上海事務所
yokohama@idec-sh.com

編集
後記

新年度がスタートしました。本紙も本号で5年目に入ります。IDECの支援メニュー等について皆さまにわかりやすく
お伝えするため、本号もIDEC支援事例をいくつか紹介させていただきました。企業の皆さまがそれぞれのステージで、
成長・発展に向けて熱い思いで事業に取り組まれていることがよくわかります。IDECは、今後も皆さまの身近な存在と
してお役に立ちたいと考えています。本紙について、ご意見、ご感想をお待ちしております。